

令和元年度 第2回通常総会 議事録

1. 日 時 令和元年 11 月 26 日 (火) 13 時 00 分～16 時 45 分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷
3. 会員総数 110 名
4. 出席会員 74 名 (うち委任状による出席者 12 名)
5. 出席した理事
会 長 井上 圭三 (議長兼議事録作成者)
副 会 長 後藤 直正
常務理事 中村 明弘 楠 文代
浜岡 純治
理 事 林 正弘 元木 和幸
田中 芳夫 浅尾 広良
河野 武幸 篠塚 和正
加留部 善晴
6. 出席した監事 富田 基郎 市川 厚
7. 出席した参与 乾 賢一 本間 浩

8. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により井上会長が議長に就任し、本日の出席会員 (議決権を有する者) が 74 名にて定款に定める定足数を満たしており、本総会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から楠常務理事、浅尾理事を指名し、事務報告の後、直ちに議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録 (令和元年度第 1 回通常総会 : 令和元年 6 月 4 日開催) について、これを全会一致で承認した。

(2) 役員の任期満了に伴う役員選考日程及び手順等について

小池事務局長から、現役員の任期が令和 2 年 6 月の第 1 回通常総会終了までとなっており、これに伴う役員選考日程及び手順等について、資料 4-①に基づき説明があり、協議の結果これを承認した。

また、役員選出のための選考手続きに関する内規の改訂案に関し、現行の役員選出方法で課題となっている理事候補者の届出 (各法人が「議決権を有する者」の中から理事候補者として、法人側若しくは大学側のいずれか 1 名を届け出た結果、法人側理事候補者の届け出が少ないことによる定数の確保、

欠員が生じた場合の後任理事の補充等)について説明があった。

次いで、資料4-②のとおり今回の内規改訂(案)

- ①「理事候補者」となるのは、すべての「議決権を有する者」とする。
 - ② 投票にあたって、当該法人内の「理事候補者」に投票ができるのは、法人側若しくは大学側のいずれか1名に限定する。
- の提案があり、協議の結果これを承認した。

(3) 令和2年度事業計画(案)について

小池事務局長から、資料5「令和2年度事業計画(案)」に基づき説明があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

(4) 令和2年度収支予算(案)について

小池事務局長から、資料6「令和2年度収支予算書(案)」に基づき説明があり協議の結果、これを全会一致で承認した。

(5) 令和元年度教育賞受賞者の選考等について

井上会長(教育賞受賞者選考委員会委員長)から、本年度候補者2名(特定の事業に功績のあった者として「教育研究問題検討委員会委員長」からの推薦1名並びに「議決権を有する者」からの推薦1名)について説明があり、次いで、資料7に基づき、11月5日に開催した「教育賞受賞者選考委員会及び第58回理事会」において選考した1名は、広く薬学教育の発展に寄与するとともに、薬学教育に関する普及・啓発活動等に顕著な業績が見られること等から、教育賞受賞者としたことの報告があり、本総会においてもこれを了承した。

有 田 悦 子(北里大学薬学部 准教授)

「教育研究問題検討委員会の推薦」

また、これまで、教育賞の英文表記がなかったため、下記の案が提案され、協議の結果これを承認した。

「Excellent Educator Award 2019, The Association of Private
Pharmaceutical Schools of Japan」

次いで、井上会長から、受賞候補者の選考にあたっての功績は、薬学教育についての全国的または地域的な活動であって、広く薬学教育の発展に寄与したことを考慮しており、大学内での活動は対象としないので今後の推薦にあたっては留意願いたい旨の発言があった。

(6) 学生入学定員の遵守について

井上会長から、入学定員遵守について、令和元年度においても入学定員を

超過する大学がみられたこと等から、資料 8 のとおり令和 2 年度についても「入学定員と入学者数が等しくなるよう、厳正な定員管理を徹底する。」ことを申し合わせるとして提案され、承認された。

(7) 広報誌「6 年制薬学ガイド 2021」の刊行について

井上会長（広報誌編集委員会委員長）から、広報誌「6 年制薬学ガイド」は、薬学部を目指す高校生、高校の進路指導担当者を対象に毎年刊行しているものであり、2021 年版についても引き続き刊行することとし、資料 9 に基づき、掲載内容（「生命（いのち）をささえる薬剤師」と題し、在宅医療に関わる薬剤師、救急領域に関わる薬剤師を取り上げること、大学で学ぶコアカリキュラム、研究内容の紹介、卒業後の進路等）の報告があった。

(8) 2018 年度「医薬品販売制度実態把握調査」結果に関する 3 団体への要望について

篠塚理事から、先に厚生労働省が公表した標記調査により、「濫用等の恐れのある医薬品」の販売ルールを遵守していない店舗が、昨年より増加し、4 年連続で遵守率が低下していたこと、第 1 類医薬品の不適切な販売が改善されていないこと等を受け、資料 10 のとおり 3 団体（日本薬剤師会会長、日本チェーンドラッグストア協会会長、日本保険薬局協会会長）へ提出する要望書の内容の説明があり、協議の結果、了承された。

(9) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、資料 11 に基づき以下について報告があった。

- ①平成 30 年度実務実習実施結果（病院・薬局）
- ②令和元年度在籍者数（6 年制学科・4 年制学科）
- ③令和 2 年度・3 年度実務実習実施日程
- ④第 39 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（9 月 30 日開催）
 - ・WEB システム検討委員会について、第 I 期実習終了後に集まった「要望が多かった項目」「運用上、不便がある項目」等について次年度に向けて改修する。
 - ・2019 年度第 I 期、第 II 期実務実習及び良い事例の報告について
 - ・独自の実務実習スケジュールに関する中央調整機構委員会としての取扱いについて

(10) 薬学共用試験について

中村常務理事（薬学共用試験センター試験統括委員会委員長）から、資料 12 に基づき 2020 年度薬学共用試験実施日程（案）の説明があり、今後、薬学共用試験センター総会、全国薬科大学長・薬学部長会議総会へ提案する

こととなる旨の報告があった。

- (1) CBT 体験受験：2020年7月15日（水）～9月11日（金）
- (2) 本試験：2020年11月28日（土）～2021年1月28日（木）
- (3) 追・再試験：2021年2月16日（火）～3月13日（土）

(11) その他

1) 令和2年度主要会議開催予定について

小池事務局長から、資料13に基づき令和2年度主要会議の開催予定について報告があった。

2) 第4回日本薬学教育学会大会について

乾参与（日本薬学教育学会理事長）から、資料14に基づき、第4回日本薬学教育学会大会「そして今、新しい時代の“薬学教育”がはじまる～ともにはぐくみ（共育）、ともにつくる（共創）～」が、8月24日（土）、25日（日）に大阪大学豊中キャンパス（大会長：土井大阪大学薬学部長）で開催され、多数の参加者を得て、盛会裏に終了したこと及び第5回大会は令和2年9月12日（土）、13日（日）に帝京大学（大会長：奥薬学部長）で開催する予定であること等の報告があった。

9. 講演について

エルピクセル株式会社 創業者 代表取締役（CEO）島原 祐基氏から、「医療におけるAI活用の現状と将来」と題し、自身のAIとの関わり、AIがどのような分野で活用されているのか、将来の活用の方向性等、具体的な事例を基に講演があった。

10. 薬学教育の諸問題について

(1) 文部科学省高等教育局医学教育課 福島薬学教育専門官から以下のことについて説明があった。

- 改訂コアカリに準拠した薬学実務実習とアンケートについて
- 2019年度の入学試験・6年制学科生の修学状況について
- 各種要請等について
 - ・ 死因究明等の推進について
 - ・ 薬害防止に関する教育の充実について
 - ・ B型肝炎に関する教育の充実等について
 - ・ アンチ・ドーピングに関する教育の充実について
 - ・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）のさらなる使用促進及び教育内容の充実について
 - ・ アレルギー疾患に関する教育の充実について
 - ・ 老年医学に関する教育の充実について
 - ・ ゲノム医療関連人材の育成について

- ・ 健康被害救済制度について
 - ・ フィブリノゲン製剤の調査等に関する協力依頼について
 - ・ 内服薬処方せんの記載方法のあり方に関する検討会報告書について
 - ・ 文部科学省・スポーツ庁・文化庁国民保護計画について
 - ・ 大学病院における患者情報の漏洩について
 - ・ 大学病院における個人情報の適正な管理について
 - ・ 大学病院における情報セキュリティについて
- 2020 年度概算要求について
- (2) 厚生労働省医薬・生活衛生局 安川薬事企画官から以下のことについて説明があった。
- 第 105 回薬剤師国家試験の施行について
 - 医薬品医療機器等法の改正について
 - ・ 開発から市販後までの規制の合理化、薬局・薬剤師のあり方見直し、過去の違法行為等への対応等が盛り込まれている。
 - 令和 2 年度予算概算要求について
 - (医薬関係概算要求、薬剤師・薬局関係予算概算要求)
 - 平成 30 年度医薬品販売制度実態把握調査の結果について

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、16 時 45 分閉会を宣言した。

◎ 令和元年度教育賞授与式について

井上会長から、令和元年度教育賞受賞者として、有田悦子氏（北里大学薬学部准教授）に対し、表彰状、教育賞盾等の授与が行われた。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）がこれに署名捺印する。

令和元年 12 月 16 日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長兼議事録作成者 井 上 圭 三
(押 印 済)

出席理事（議事録署名人） 楠 文 代
(押 印 済)

出席理事（議事録署名人） 浅 尾 広 良
(押 印 済)